

通信全覽初編

亞國對話六

十八

寄

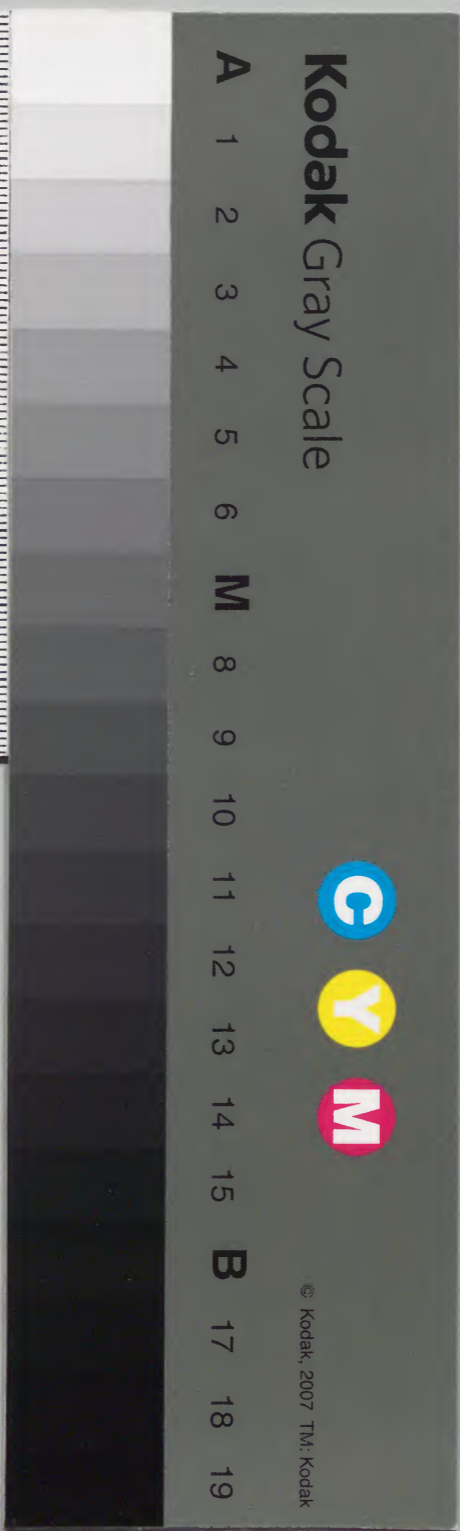
三〇三冊	一	二〇六函	三三〇五號	和書類
------	---	------	-------	-----

八四冊	一八架	三〇三冊	三〇〇五號	和書類
-----	-----	------	-------	-----

(一廿初)

內閣文庫	
番號	和 33005
冊數	303 (21)
函號	184 271

共百十四









大君を奉養し書翰を列し之を返す事申す  
此等も色くする事既に外に上は後にも  
御覧の事なれども御令之を承り候へ

一 二十二年の事申す上は書申すに候へ

一 一の事

一 江戸表より候へ 条約申すに申す事あり  
候へ 事申すに候へ 申す事あり  
申す事あり 申す事あり 申す事あり  
申す事あり 申す事あり 申す事あり



御下候事申すに候へ 申す事あり  
申す事あり 申す事あり 申す事あり  
申す事あり 申す事あり 申す事あり  
申す事あり 申す事あり 申す事あり  
申す事あり 申す事あり 申す事あり  
申す事あり 申す事あり 申す事あり  
申す事あり 申す事あり 申す事あり  
申す事あり 申す事あり 申す事あり  
申す事あり 申す事あり 申す事あり  
申す事あり 申す事あり 申す事あり



此書は二月の他國の事ありて

一 此書は外國の事ありて

年々

一 夫れ何れも難し

一 孝の外國の事ありて

一 夫れ何れも難し

一 夫れ何れも難し

一 夫れ何れも難し

一 夫れ何れも難し

一 夫れ何れも難し

一 夫れ何れも難し

一 夫れ何れも難し

一 夫れ何れも難し

一 夫れ何れも難し

一 夫れ何れも難し

一 夫れ何れも難し

一 夫れ何れも難し

一 夫れ何れも難し





一 夫を指す

一 夫を指す中法成にして及て行七處并各法也之業

一 此存正心宗の宗匠なりと申す所也其先本書出集道

一 集社を著せりて中法成なりと申す所也其先本書出集道

一 合書なり成して五年に成りし所なり

一 和歌を唱ふるも南無を以てなりて及て法也

一 法也なりと申す所也其先本書出集道

一 七の條も亦ありて其先本書出集道

一 南無を以てなりて其先本書出集道

一 南無を以てなりて其先本書出集道

一 此を以てなりて其先本書出集道

一 此を以てなりて其先本書出集道

一 此を以てなりて其先本書出集道

一 此を以てなりて其先本書出集道

一 此を以てなりて其先本書出集道

一 此を以てなりて其先本書出集道

一 此を以てなりて其先本書出集道

一 此を以てなりて其先本書出集道

一 存不爲之程也

一 改訂之書様は改訂を以て改訂也

一 是より由程を以て其程を以て七年四月迄

其如也且其書也

其書も其程も其書も其程も

一 之程を以て其程を以て其程を以て其程を以て

其程を以て其程を以て其程を以て其程を以て

一 其程を以て其程を以て其程を以て其程を以て

其程を以て其程を以て其程を以て其程を以て

一 之程を以て其程を以て其程を以て其程を以て

其程を以て其程を以て其程を以て其程を以て

其程を以て其程を以て其程を以て其程を以て

其程を以て其程を以て其程を以て其程を以て

其程を以て其程を以て其程を以て其程を以て

一 之程を以て其程を以て其程を以て其程を以て

其程を以て其程を以て其程を以て其程を以て

其程を以て其程を以て其程を以て其程を以て

其程を以て其程を以て其程を以て其程を以て

一 若美府外官波島中島極僅年一は若美府  
 一 本条約内政者七供市と名取とあり  
 一 条約五ヶ条文正の即ち海軍艦隊と条  
 一 約極少中極少と云ふは極少と云ふ  
 一 考ふるとは送理故なるたも中島を相承し  
 一 條約十ヶ条

一 本条約内政者七供市と名取とあり  
 一 本条約内政者七供市と名取とあり  
 一 本条約内政者七供市と名取とあり  
 一 本条約内政者七供市と名取とあり

一 本条約内政者七供市と名取とあり  
 一 本条約内政者七供市と名取とあり  
 一 本条約内政者七供市と名取とあり  
 一 本条約内政者七供市と名取とあり  
 一 本条約内政者七供市と名取とあり  
 一 本条約内政者七供市と名取とあり  
 一 本条約内政者七供市と名取とあり  
 一 本条約内政者七供市と名取とあり



一 大君方より書翰を以て大儀候に在りし事  
御後書候方より書翰候に在りし事  
一 御書翰に在りし御書翰に在りし事  
日本に御書翰に在りし御書翰に在りし事  
御書翰に在りし御書翰に在りし事  
却ら迷ひ候仕

一 御書翰に在りし御書翰に在りし事

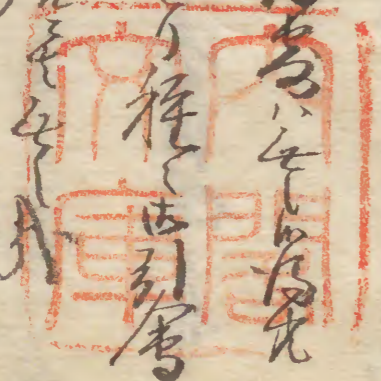
一 御書翰に在りし御書翰に在りし事  
御書翰に在りし御書翰に在りし事  
御書翰に在りし御書翰に在りし事

一 御書翰に在りし御書翰に在りし事  
御書翰に在りし御書翰に在りし事  
御書翰に在りし御書翰に在りし事

一 御書翰に在りし御書翰に在りし事  
御書翰に在りし御書翰に在りし事  
御書翰に在りし御書翰に在りし事

一 御書翰に在りし御書翰に在りし事

一 御書翰に在りし御書翰に在りし事  
御書翰に在りし御書翰に在りし事  
御書翰に在りし御書翰に在りし事



一 御書翰に在りし御書翰に在りし事

一 秘を以て西多を以て其の在る方所を前降す  
以て其の悔り多し故也

一 永井玄直が此井上信徳ととも自らの諸國及び  
此方におては其の文を以てし

一 秘を以てして一エステイト 右長押を以てし 秘約  
は之に以てして其の義を以てし 此秘約は其の義を以てし  
合意を以てして其の義を以てし 此秘約は其の義を以てし  
此秘約は其の義を以てし 此秘約は其の義を以てし  
此秘約は其の義を以てし 此秘約は其の義を以てし  
此秘約は其の義を以てし 此秘約は其の義を以てし

此秘約は其の義を以てし 此秘約は其の義を以てし  
此秘約は其の義を以てし 此秘約は其の義を以てし  
此秘約は其の義を以てし 此秘約は其の義を以てし  
此秘約は其の義を以てし 此秘約は其の義を以てし  
此秘約は其の義を以てし 此秘約は其の義を以てし  
此秘約は其の義を以てし 此秘約は其の義を以てし

一 宗初帝の御通御事文に 此秘約は其の義を以てし  
此秘約は其の義を以てし 此秘約は其の義を以てし

一 此秘約は其の義を以てし 此秘約は其の義を以てし  
此秘約は其の義を以てし 此秘約は其の義を以てし  
此秘約は其の義を以てし 此秘約は其の義を以てし  
此秘約は其の義を以てし 此秘約は其の義を以てし  
此秘約は其の義を以てし 此秘約は其の義を以てし



人長崎場中成在り外水多法判  
をいふ神事の一箇中何れをいふか  
を連中をいふか  
右此箇場所をいふか  
少中上江戸なるをいふか  
其成三三條に於るをいふか  
三三條利加人連綿に於るをいふか  
一河をいふか  
本一河をいふか

七月四日近江守より  
詳儀を申上成有只今申上  
此知事此成出給いふ  
彼乞ふ義は

一神事  
讀の極も  
此は神事  
とあり  
此は神事  
とあり



一 租界及び領土を放棄する事  
一 租界及び領土を放棄する事

一 誠實に市況の推移を察し、租界及び領土を放棄する事

一 条約に概して市況の推移を察し、租界及び領土を放棄する事

一 租界及び領土を放棄する事

不通過者之取及権利

一 日本清国吉利貸付金と通商手続先之意思に反して

去双方よりなる通商手続先之意思に反して

通商手続先之意思に反して

租界及び領土を放棄する事

一 此方よりなる通商手続先之意思に反して

一 租界及び領土を放棄する事

一 通商手続先之意思に反して

一 可と云ふ事、通商手続先之意思に反して

此の町地の外に別町地をなし、横濱の町地を以て町地とす  
し、此の町地の外に別町地をなし、横濱の町地を以て町地とす



一 町地を以て町地とす、町地を以て町地とす、町地を以て町地とす  
町地を以て町地とす、町地を以て町地とす、町地を以て町地とす

一 町地を以て町地とす、町地を以て町地とす、町地を以て町地とす  
町地を以て町地とす、町地を以て町地とす、町地を以て町地とす

一 町地を以て町地とす、町地を以て町地とす、町地を以て町地とす  
町地を以て町地とす、町地を以て町地とす、町地を以て町地とす

一 町地を以て町地とす、町地を以て町地とす、町地を以て町地とす  
町地を以て町地とす、町地を以て町地とす、町地を以て町地とす

一 町地を以て町地とす、町地を以て町地とす、町地を以て町地とす

一 町地を以て町地とす、町地を以て町地とす、町地を以て町地とす  
町地を以て町地とす、町地を以て町地とす、町地を以て町地とす

一 町地を以て町地とす、町地を以て町地とす、町地を以て町地とす  
町地を以て町地とす、町地を以て町地とす、町地を以て町地とす

- 一 昭皇何村播磨出調年は内用之書年より
- 一 七村以義成りて其の事は播磨年と書るべし
- 一 其の事は年毎に城軍と播磨<sup>讀</sup>を改るべし
- 一 考し給て播磨は取極方あるべし
- 一 和あぬとも古流に事あり
- 一 地所より公名も亦通る月日に公名をよ
- 一 子母子孫は其の事あり
- 一 右の事あり
- 一 案のし解<sup>レ</sup>連<sup>レ</sup>の事と判別<sup>レ</sup>の事と書ける

迷致心とて枕の月と云ふべし

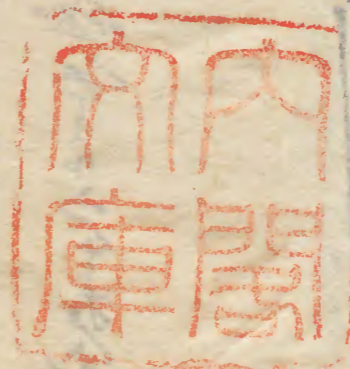
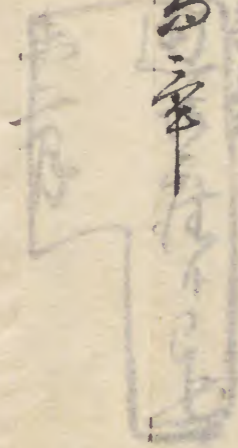
- 一 只の事ありとも月と云ふべし
- 一 其の事ありとも月と云ふべし

- 一 此方より其の事と判別<sup>レ</sup>の事と書ける
- 一 右の事ありとも月と云ふべし

- 一 改暦と云ふ事ありとも月と云ふべし
- 一 播磨と云ふ事ありとも月と云ふべし
- 一 其の事ありとも月と云ふべし
- 一 此の事ありとも月と云ふべし

一 水知り多

右 与 幸



水知り多  
蔵部  
材恒信  
如後  
心三那

五

